

【目指す児童像=学校教育目標】考える子・やさしい子・元気な子



たりほのいね

【目指す学校像】 家庭・地域とともに学びを広げ、生きる力を育み笑顔あふれる学校

令和6年2月5日
みずほ台小学校だより
児童数462名



2学期終業式 冬至(12/21)

しむす/12月

立冬(11/7)

しむす/11月

かなづき/10月

つぎ/4月 入学式・1学期始業式

つぎ/5月 立夏(5/5)

みなづき/6月

夏(6/21)

なつ/7月

3~6年 競書会

他学年の様子は市HP掲載分の3ページ目で紹介

4年生

持久走記録会

6年生

子どものうちは、**入選や入賞できない自分をダメな子だと思ひこみやすいものです。ライバルは、字のきれいな友達でも前を走る子でもなく、昨日までの自分はず。**ところが、「〇〇さんはまた選ばれてすごいね」とか「今年も〇〇さんは頑張ってたね」という賞賛を裏返しにして捉えてしまいがちです。

書道や柔道など、自らと向き合いその道を究めようとする物事には文武を問わず道と名のつくものが多いです。それらは評価方法も、あそこがだめ、ここがだめという減点法より、作品や技の有効性や独創性などを重んじた加点法が多いように感じます。

自己肯定感を高めるためにも、自分も友達のこととも加点法で賞賛しあえる子どもたちを皆さんと一緒に育ててまいりたいと思います。

全校で応援メッセージを作成し
お水と一緒に被災地へ



子どもたちの寄せ書きは市のHPにも。2Lの水2,400本や給水車などが被災地に提供されました。

ライバルは昨日までの自分

◆2月の生活目標◆
整理整頓・片づけをしっかりとしよう

今後の主な予定

- 6 火 市内中学校入学説明会
- 9 金 短4 市教研研究発表会
- 21 水 3,4年、けやき授業参観・懇談会
- 27 火 1,2年授業参観・懇談会
- 28 水 5,6年授業参観・懇談会
- 3/1 金 6年生を送る会 ハッピーあいさつ
- 8 金 一斉下校
- 15 金 卒業式予行
1~4年短4、5・6年短5
- 19 火 短4
- 21 木 短4 給食最終日 お別れの会
- 22 金 卒業証書授与式
1~5年臨時休業日
- 25 月 短3,6年臨時休業日~31
- 26 火 令和5年度修了式
- 27 水 春季休業日~4/7
- 4/8 月 令和6年度始業式・入学式

避難訓練は今月上旬に日時を公開せずに実施

表彰コーナー たたえよう! たかめよう!

はがきでコミュニケーション全国発表大会
中学年の部 A 優秀賞 30000 ●数字は学年
高学年の部 A 優秀賞 50000



幼保小交流会(1/24・26)

園児を招き、1年生が学校の一日常や学用品など楽しく紹介。6年生相手にリハーサルした甲斐もあり、みんな笑顔で大成功。この出会い(エンカウンター)はお互いの進級に向けて絶大な効果があります。

令和6年度 主な行事予定

◆始業式・終業式など

1学期 始業式 4月 8日(月)、 終業式 7月19日(金) ※入学式は4月8日 12:25-40 受付
 2学期 始業式 8月26日(月)、 終業式 12月24日(火)
 3学期 始業式 1月 8日(水)、 卒業証書授与式 3月24日(月)、 修了式 3月26日(水)

◆授業参観・懇談会

1学期(懇談会のみ) 4月16日(火) 高学年・けやき学級、 17日(水) 中学年、 18日(木) 低学年
 2学期(両方実施) 10月16日(水) 低学年・けやき学級、 17日(木) 高学年、 18日(金) 中学年
 3学期(両方実施) 2月19日(水) 中学年・けやき学級、 20日(木) 低学年、 21日(金) 高学年

◆個人面談

1学期 希望家庭 4月30日(火)～5月2日(木)
 全家庭 7月 2日(火)～11日(木) ※8日(月)を除く7日間
 2学期 全家庭 12月 3日(火)～12日(木) ※9日(月)を除く7日間

◆全校行事

運動会 6月 1日(土) 午前、 振替休業日 6月 3日(月)
 公開音楽会 11月 2日(土) 午前、 振替休業日 11月15日(金)
 陸上大会(高) 10月 2日(水) 午後、 1～4年生は短縮4時間

◆宿泊行事

林間学校(5年) 7月24日(水)～25日(木)、 説明会 6月28日(金)
 修学旅行(6年) 11月28日(木)～29日(金)、 説明会 10月17日(木)



大谷翔平選手からのグローブつけてみたよ

夏野菜やサツマイモに続き、この冬も学校ファームは大豊作。5年生が自分たちで育てた大根を家庭科でみそ汁に。カブみたいに甘くてほくほく、立ち上る湯気に1年間の畑仕事の苦労も癒される一杯でした。大地の恵みに感謝。

大根の味噌汁(5年)



第47回卒業証書授与式(3月22日)について

※6年生のみ登校、1～5年生は臨時休業日

- ・保護者は2名まで、あらかじめ指定された座席(後日お知らせ)にて、未就学児は膝の上をお願いいたします。
- ・来賓として、行政代表(市議)、保護者代表(PTA会長)、地域代表(学校評議員)のお三方をお招きいたします。
- ・在校生は入場できません。

令和6年度入学式(4月8日)について

※新2年生以上は始業式のあと10:05から下校開始

- 12:25～12:40 受付(校舎昇降口)
- 12:40～12:50 事前指導(各教室)
- 13:00～13:30 入学式(体育館)
- 13:35～14:00 学級活動・集合写真撮影
- ・保護者は2名まで、未就学児はお膝の上へ。
- ・卒業式同様、在校生は入場できません。

入学式



難波田城資料館出前授業(3年)



6年間最後の社会科見学は、皇居周辺の官庁街をバスで回りながら国会議事堂と科学技術館へ。政治でも科学でも、本物と出会うことで子どもたちの夢や希望につながる体験を大切にしています。卒業後も、これまで行けなかった博物館や美術館など、浦安のテーマパーク以外にも足を運び、将来は海外にも行ける人になってくれたらと願っています。

一昨年、市制50周年を迎えた本市は、1956(昭和31)年に鶴瀬、水谷、南畑の3村合併で富士見村に。当時の小学生は現在70代後半。見慣れない昔の生活用品をさわったり、縄をなったり。石うすで挽いたきな粉はとてもいい香りでした。



社会科見学(6年・2/2)

大谷選手のグローブは校内一巡して校長室前に展示中。ご来校の際はお手にとってご覧ください。

現小6の高校受験時から、県公立高校の入試で「自己評価資料をもとにした面接」が導入されます。詳しくはHPの p.4で↑

光あるうちに光の中を歩め



オンライン限定袋とじ「たりほの3丁目」 今月もご覧いただきありがとうございます。

1年生

持
久
走
記
録
会

2年生

次
な
る
頂
い
た
だ
き
を
め
ぎ
し
て

6年生

4年生



3年生

5年生

競
書
会

6年生

記録会当日は多くの保護者にお越しいただき、温かいご声援をありがとうございました。今後もプログラムのスムーズな進行にご協力をお願いいたします。

静と動、自分と向き合い、登りきって見えてくる次の頂。スポーツ、勉強、芸術…高めあえる仲間へ感謝。

令和9年4月に高校に入学する子どもたち(現小6)から、県立・市立の高校入試が変わります

1. 受検生(学力検査を受けるため、受検と表記します)全員に、「自己評価資料」をもとにした面接が実施されます。
2. 中学校から高校に提出する調査書(いわゆる内申書)から、9教科以外の学習活動(生徒会や部活動、各種の表彰)などの所見がなくなります。(その分を「自己評価資料」に自分で記入)

3. 一部の学校では、実技検査や小論文、傾斜配点など特色ある選抜方法になります。

- 「自己評価資料」に記入し、面接で応答する内容
 - 1 体験してきたことや、自己アピールしたいこと
 - 2 高校で挑戦したいこと、将来の夢
 - 3 (各高校で設定する項目)



埼玉県教育委員会のメッセージ

— 6年生の皆さんへ —

皆さんは、クラスのみならず協力して答えを出したり、昨日までできなかったことができるようになったりと、小学校で様々な学習を積み重ねてきました。「何を学んだか」だけでなく、「何ができるようになったか」や「どうやって学んだか」ということも大切だということを実感していることでしょう。

これからの社会は、皆さんが想像できないほど大きく変わっていくと言われています。そのような社会が変化する中では、皆さんが自分の将来を自分で考え、切り拓いていくことがますます必要になります。皆さんには、学校で学んだことを社会に出てからもいかして、未知の状況に対応できるような力を育ててもらいたいと考えています。

中学校入学後は、部活動をはじめ学校内だけでなく地域で活動する機会も増え、一人一人の活動の幅が広がることが予測されます。

皆さんが、将来の夢に近づくために、自分の興味関心に合わせて、自分の考えて高等学校を選んでもらいたいと考えています。これからも自分がやりたいことに挑戦し、夢や希望を持って中学校生活を送ってください。皆さんの活躍を期待しています。

Q なぜ面接や自己評価資料が必要なのか

A これまでの学校生活で努力したことやこれから頑張りたいことは人それぞれで、それを自分の言葉で伝えられるようになることは自分を見つめ直したり、考えを整理したりする上でとても大切なことです。

高校入試では、自分で書いた資料や、それをもとにした面接により、今後の学校生活の意欲や学びに向かう力を評価していきます。(パンフレットQ&Aより)

— 保護者の皆様へ —

子供たちは今、学校で多くの学習をしており、「何を学んだか」だけではなく、「何ができるようになったか」や「どのように学んだか」も今後ますます大切になってきます。

これからの社会がどのような世の中になっても、子供たち一人一人が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く将来を実現してほしい、そして、明るい未来を、他者とともに作っていくことのできる人に育ててほしいと考えています。

そのために、子供たちは、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」だけでなく、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育む必要があります。

また現在、中学校では、これまで学校内を中心として実施してきた部活動を、学校単位から地域単位の取組とすることを視野に入れ、「学校と地域が連携」した地域クラブ活動として活動することを目指しており、今後、子供たちの学校内外の活動がますます多様化することが見込まれています。

さらに、各高等学校が自校の「入学者の受け入れに関する方針」を公表し、子供たちが興味関心をもって主体的に進路選択ができるようにする必要があります。

以上のことから、令和5年度の6年生が受検する埼玉県公立高等学校入学者選抜から、新しい入学者選抜方法を実施します。保護者の皆様におかれましては、ご理解いただきますようお願いいたします。

大学入試改革(英検やボランティア活動、小論文や面接の重視など)に伴い、義務教育の出口の見直しも進んでいます。入口の小学校では上記水色の部分を意識した授業改善を進め、高校まで書き継ぐ「キャリアパスポート」などふり返ってまとめる力、経験がどう生かされているか伝える力を育ててまいります。

ご家庭では、この件で何か習い事を増やしたりするよりも、地域の行事やボランティアなどにも目を向けさせながら、引き続き宿題や音読など「アウトプットの見届け」へのご協力をお願いいたします。また、地域の皆様におかれましても、子供たちが地域活動に参加した際にはどうぞ温かいお声かけをお願いいたします。

